

「ゴールドドラットスクールがもたらしたモノ」

～ゴールドドラットスクール提供プログラムに基づくTOC導入現場からの報告～

開催概要

日時 ; 3月20日(金) 13:30~16:30
 場所 ; 東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)6階603会議室
 (仙台市青葉区国分町3-3-7 TEL; 022-225-8641)

話題提供者; 桂 利治 (TOCコンサルタント)

内容 ; 1) ゴールドドラットスクール提供TOC研修プログラムの概要
 2) 同上研修プログラムによる大きな改善点
 3) 同上研修プログラムに基づく導入ケース(苦労話など)
 4) 質疑応答

定員 ; 20名(先着順)

入場無料

話題提供者

桂 利治 (TOCコンサルタント)

GS認定トレーナー (CCPM,S-DBR)

技術士(建設、総合技術監理部門)

CCPMを中心にTOCコンサルティングを行っている。

仙台を拠点とし、九州をはじめ全国各地に赴いている。

<http://www.toc-ccpm.jp/>

<http://drucker-toc.com/>

<http://sekoukeikaku.com/>

ゴールドドラットスクールの日本上陸

2007年ゴールドドラットスクール(以下「GS」と略します)が、日本にはじめてその教育プログラムを公開し、TOCトレーナーの養成に乗り出しました。

これまでに以下の研修プログラムが行われてきました。

2007年 CCPM(クリティカルチェーン・プロジェクトマネジメント)

2008年 S-DBR(シンプリファイド・ドラム・バッファー・ロープ)

2008年 SCM(サプライチェーンマネジメント)

2009年3月(予定) MT(マネジメントツール;思考プロセス)

GS提供TOC研修プログラム

GS提供プログラムは、世界での豊富な経験がフィードバックされたTOC導入知識の集合体とも言えるモノで、TOCによって「何を変えるのか?」「何に変わるのか?」「どのように変化を起こすのか?」をわかりやすくまとめています。従来の研修プログラムのような手法に関する知識だけではなく、現実の企業への実際の導入手順までをカバーした内容になっています。

これにより、大きな改善(改革)活動を行う際に最も難しい「実際の変化を起こす」ための有用なガイドラインが示されました。

またTOCそのものの変化も、プログラムの中に体系的に反映されています。

「市場が最も重要な制約である」ことを明言すると同時に、その言葉の通りに各導入ツールにおいて一番最初に導入すべきインジェクション(解決策)を、市場制約に対するインジェクションとしました。

今回は、このGS提供プログラムの全体概要を紹介し、TOC導入において渋滞よりも改善された点についてお話しします。

GS提供プログラムに基づく導入ケース

GS提供プログラムに基づいて、TOC導入を行う企業がいくつか出てきました。

今回は、そのうちCCPMとS-DBRの導入ケースについて報告します。

まだ成功事例とまで至っていないケースですが、導入に際して遭遇した思わぬ成功、思わぬ失敗などについて、導入に携わっているコンサルタントの視点から、TOC導入現場の生の話をお届けします。

お申し込み

下記申し込み書の内容をメールまたはFAXにてお送りください。

桂技術士事務所 桂 利治 宛

メール toshi@ka2ra.jp

FAX 020-4622-8839

または 022-244-2346

お問い合わせ先

桂技術士事務所 桂 利治(かつら としはる)

メール toshi@ka2ra.jp

携帯電話 090-4888-3813

申し込み書; 3/20 TOC報告会(2)に参加します

お名前 ; _____

ご連絡先; _____

会社名 ; _____

ご要望等(あれば); _____